

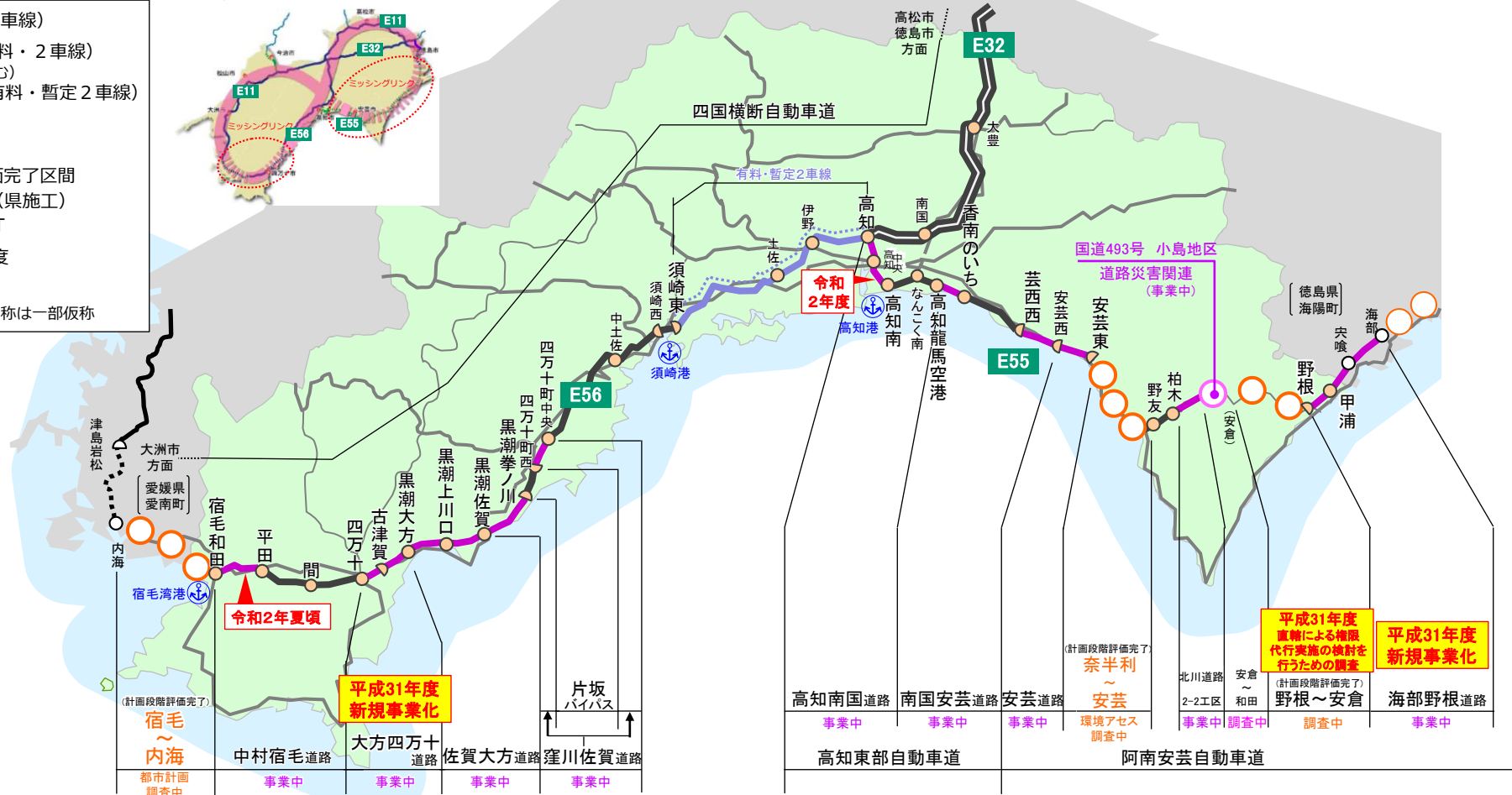
四国8の字ネットワークの整備促進

整備状況

凡例

- : 開通済 (4車線)
 - : 開通済 (無料・2車線) (暫定2車線含む)
 - : 開通済み (有料・暫定2車線)
 - : 事業中
 - : 一般国道
 - : 計画段階評価完了区間
 - : 調査中区間 (県施工)
 - : 主なIC、JCT
 - : 開通予定年度
 - ⚓: 重要港湾
- ※事業中区間のICの名称は一部仮称

四国8の字ネットワーク



地域経済の活性化を支え、大規模災害時の備えとして不可欠な四国8の字ネットワークの整備は急務

1 事業中箇所の早期開通

- 四国横断自動車道: 中村宿毛道路 平田～宿毛和田 **令和2年夏頃**
- 高知東部自動車道: 高知南国道路 高知～高知南 **令和2年度**

2 計画段階評価完了区間の早期事業化

- 四国横断自動車道: 宿毛～内海
- 阿南安芸自動車道: 奈半利～安芸

3 直轄による権限代行実施の検討を行うための調査の早期完了 直轄権限代行による早期事業化

- 阿南安芸自動車道: 野根～安芸

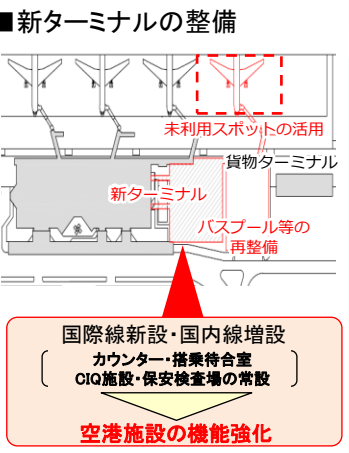
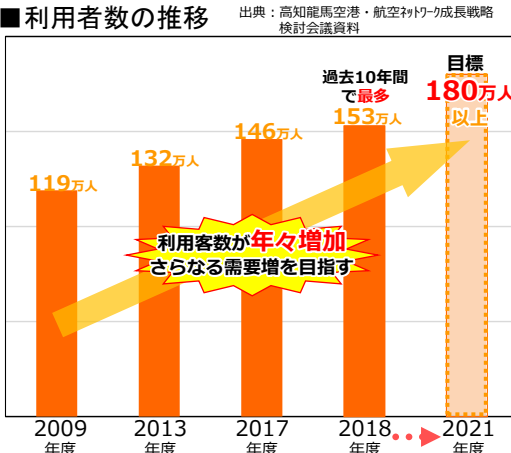
「新規事業化」や「直轄による権限代行実施の検討を行うための調査」の決定に地元は大変喜んでおり、早期開通への期待が大いに高まっています。

- 四国横断自動車道: 窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路
- 高知東部自動車道: 南国安芸道路 高知龍馬空港～香南のいち、芸西西～安芸西
- 阿南安芸自動車道: 安芸道路、海部野根道路、北川道路2-2工区 (補助事業費の確保)

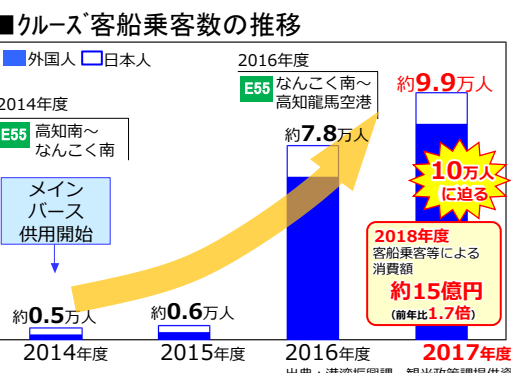
整備状況



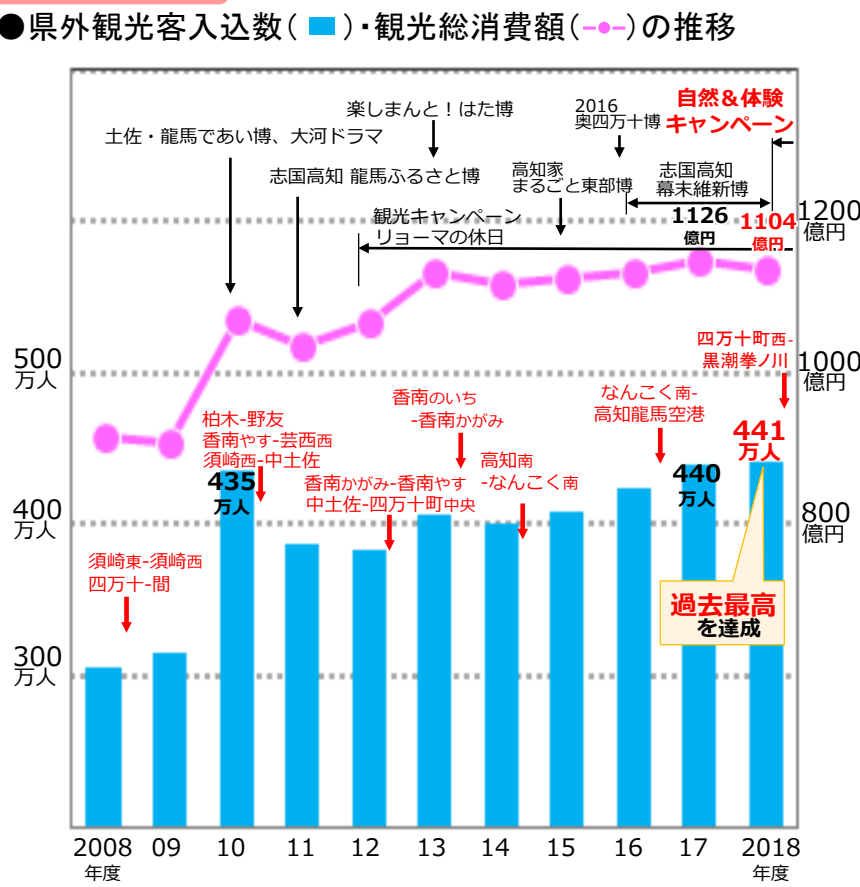
高知龍馬空港の整備



高知新港の整備



観光振興



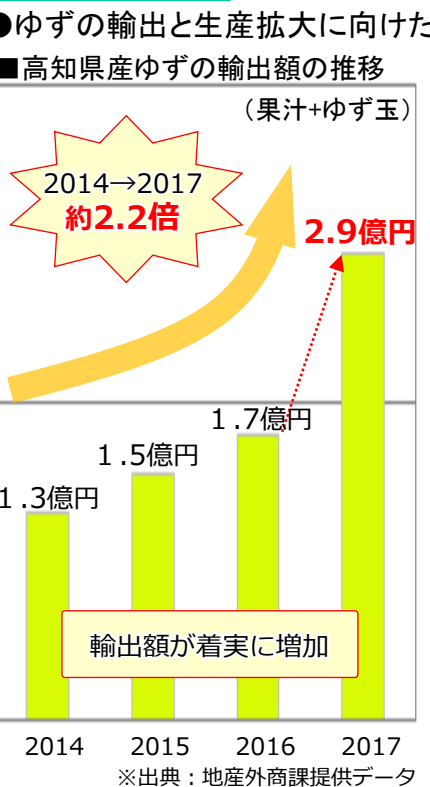
●435万人観光の定常化に向けた取り組み

■「自然&体験キャンペーン」を開催中

2019年2月1日(金)～2021年3月31日(水)

大自然を満喫するアクティビティから、地元の方々とのふれあいや街歩きなど、訪れる人それぞれが高知を満喫できる体験プログラムが充実

産業振興



■ゆず園地の整備(北川村)

【2018～2022】(2018新規事業)

合計5.4ha整備予定

※うち海外輸出用約1/3

生産額約2.2倍

■輸出用ゆず玉の園地と加工場

加工場

・EU加盟国への輸出検疫条件を満たした園地と加工場

●四国8の字ネットワーク沿線での国内外からの需要増に対応する新工場の整備

①高知県食品工業団地【高知市大津】

※高知中央IC (令和2年度開通予定) 近隣

■ミレービスケットを中心とした特産品の売上高の推移

9.9億円 (2015)

13.7億円 (2016)

16.5億円 (2017)

20億円超 (目標 2020)

生産量 約180万袋/月

県外への出荷 約6割

・首都圏や近畿地方等に陸送で毎日出荷

■高知～高知南の開通を見据えた生産能力の増強

・ミレービスケットの生産能力の増強【5割増】

※高知県食品工業団地事業協同組合提供データ

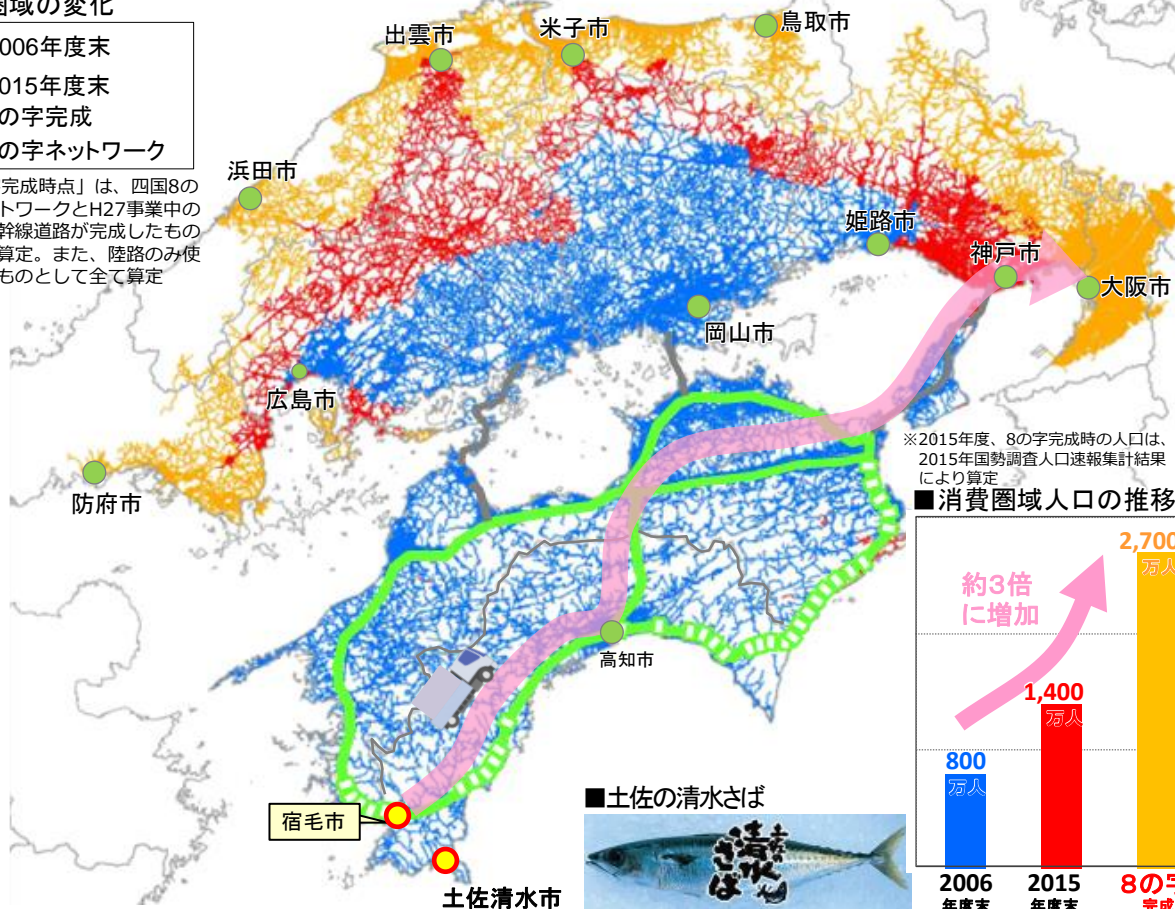
産業振興

●宿毛市からの消費圏域(6時間圏域)の拡大

■消費圏域の変化

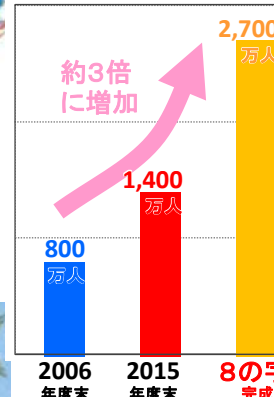
- :2006年度末
- :2015年度末
- :8の字完成
- :8の字ネットワーク

※「8の字完成時点」は、四国8の字ネットワークとH27事業中の高規格幹線道路が完成したものととして算定。また、陸路のみ使用したものととして全て算定



※2015年度、8の字完成時の人口は、2015年国勢調査人口速報集計結果により算定

■消費圏域人口の推移



■土佐の清水さば



●地域の食材を使ったメニューを提供する店舗の出店【幡多6市町村】

■サバを安定して活魚輸送できるのは約6時間



・ブランド魚「土佐の清水さば」の活魚水槽を設置した飲食店が開店

■特産物を新鮮な状態で大消費地へ届ける



・宿毛市産ブリなど、幡多地域6市町村の食材を使用した料理を提供する飲食店が開店

●産地加工体制の強化による付加価値の向上【宿毛市】

■養殖魚の加工能力県内最大規模の水産加工施設



【2019.7操業開始】

- ・事業内容：養殖魚の加工等（マグロ・ブリ・マダイ等）
- ・新規雇用予定：フル操業時28名（うち立ち上り18名）
- ・HACCP認証取得予定 ※アメリカ向け

観光振興

●高知龍馬空港や高知新港から観光拠点等へのアクセス向上

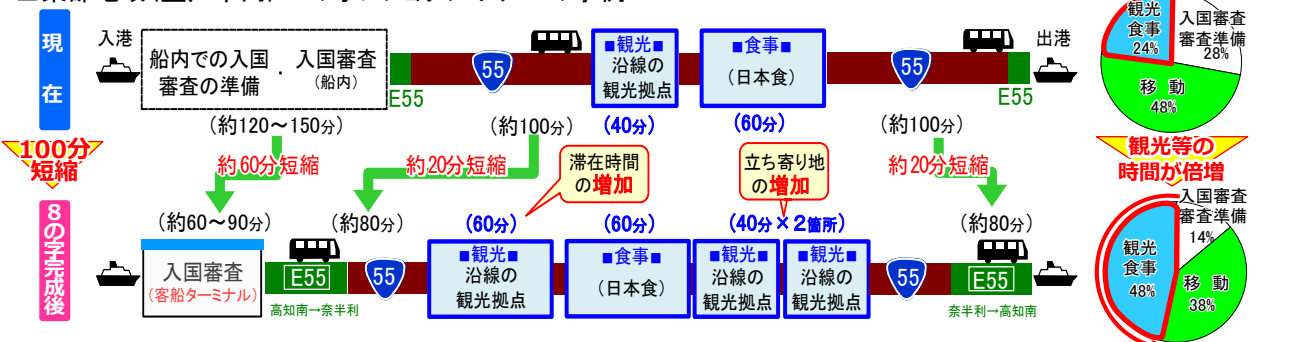


■凡例

- : 開通済(4車線)
- : 開通済(無料・2車線)(暫定2車線含む)
- : 開通済み(有料・暫定2車線)
- : 事業中
- : 一般国道
- : 計画段階評価完了区間
- : 調査中区間(県施工)
- : 主なIC、JCT
- ⚓: 重要港湾

●インフラ整備によるクルーズ客船オプションツアー客の滞在時間の増加

■東部地域(室戸市内)へのオプションツアーの事例



▲高知新港にクルーズ客船が2隻同時入港(2018年4月)



▲クルーズ船乗客を観光地へ送迎するための30台を超える大型バスが集結(2018年6月)



▲室戸ユネスコ世界ジオパークを訪れるオプションツアー参加者(室戸岬)

日々の安全・安心の確保 中山間地域の暮らしを支える安全な道路の早期整備

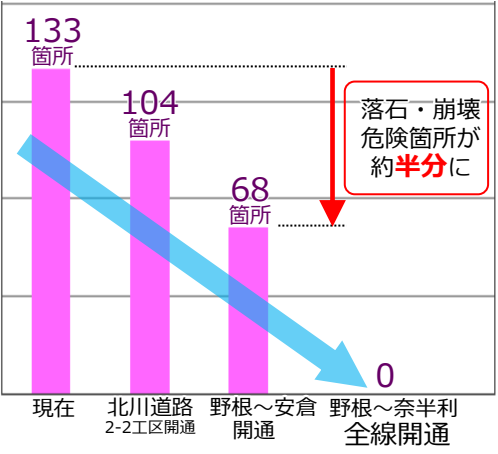
●地域住民の日々の生活を支える国道493号では、大規模な崩壊や落石が頻発



■大規模な崩壊や落石が度々発生

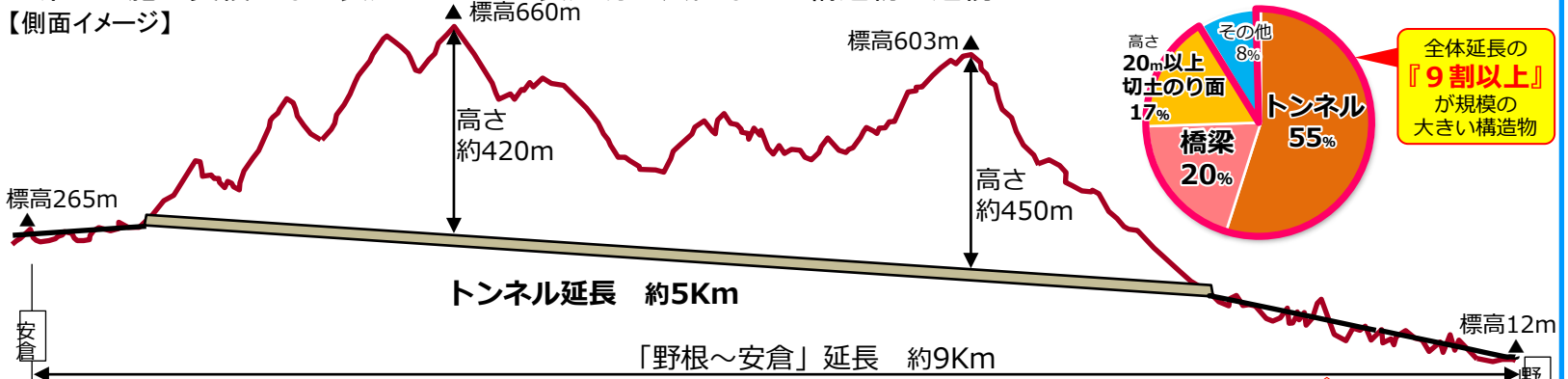


■国道493号の落石・崩壊危険箇所の推移



●「野根～安倉」は急峻な地形と極めて脆弱な地質による難施工区間

■県では施工実績のない長大トンネルや長大切土法面などの構造物が連続【側面イメージ】



【主な構造物の構成割合(延長割合)】



■脆弱な地質



■高い技術力が必要

- 構造物
 - ・規模が大きい
 - ・連続している
- 地形地質
 - ・急峻な地形
 - ・脆弱な地質

高度な技術力

- ・トンネル内の崩壊対策
 - ・切土のり面の崩壊対策等
- 直轄による権限代行実施の検討を行うための調査の早期完了
●直轄権限代行による早期事業化

8の字の整備 中山間地域の安全で安心な日々の暮らしを確保

【四車線化により災害の備えを高める】

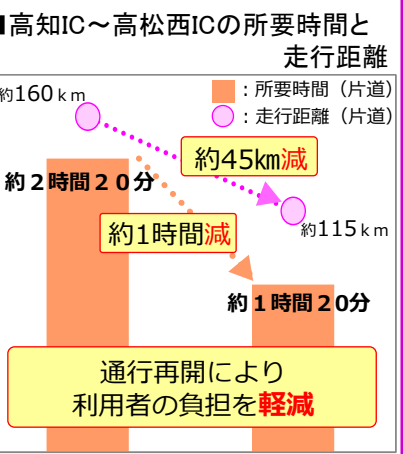
●2018年7月7日 高知自動車道「立川橋」の流失



2018年7月7日未明_道路区域外の法面崩壊により橋梁上部工が流失

6日後

●2018年7月13日_11:00 高知自動車道通行再開



▲対面通行による通行再開状況(大豊IC付近) 通行止め時(迂回利用) ※H27道路交通センサスにて算出

約1年後

●2019年7月8日 高知自動車道 4車線による通行再開



四車線化

- ・早期の通行再開により、広域的な交通の途絶を回避
- ・通行を確保した上で、円滑な全面復旧作業が可能